

OpenStack 上の OpenShift で 将来に備えるための 5 つの方法

クラウドとコンテナ・テクノロジーが未来に向けたイノベーションを促進

クラウドとコンテナ・テクノロジーは、組織のアプリケーションをモダナイズし、コストを削減しながらスケーラビリティ、信頼性、セキュリティを高めるのに役立ちます。実際、企業の 52% は「ワークロードのコンテナ化」を、50% は「ワークロードのクラウド化」を、アプリケーションのモダナイズーションへの鍵と考えています。¹ また、通信会社の 67% が、今後 12 カ月以内に自社ワークロードの 50% 以上をコンテナ化することを想定しています。²

OpenStack® と Kubernetes の両テクノロジーのリーダーでありエキスパートである Red Hat は、お客様がクラウドネイティブ化プロセスのどの段階にいるかにかかわらず、その道筋を単純化してお手伝いをします。Red Hat® OpenStack Platform と Red Hat OpenShift® が連携することで、お客様のモダナイズーション全体で組織と取り組みをサポートする、プロダクショングレードの柔軟な基盤が実現します。これらのプラットフォームは共同で設計および開発されているため、信頼性の高い相互運用性を実現し、長期にわたって各プラットフォームの能力を最大限に発揮できます。Red Hat は両プラットフォームをサポートし、単一の窓口を通じて問題解決を単純化および効率化します。また、組織が既存のアプリケーションをより効率的にモダナイズし、新しいクラウドネイティブ・アプリケーションをビルドするために必要なプラクティス、ツール、文化を生み出すためのサービスやトレーニングも提供しています。

ここでは、Red Hat OpenStack Platform 上で Red Hat OpenShift を実行することで、将来に備えるための 5 つの主要な方法をご紹介します。

1 時間をかけてワークロードを移行する

ほとんどの組織は、アプリケーションのモダナイズーションを単一のステップではなく、反復的なプロセスとして取り組んでいます。コンテナ導入が増加をたどる一方で、コンテナ化されたフォーマットで提供される商用アプリケーションはまだ多くありません。また、カスタムアプリケーションのモダナイズとコンテナ化には時間がかかり、組織はカスタムアプリケーションの半数近くはモダナイズに 1 年以上かかると予想しています。¹

Red Hat OpenStack Platform 上で Red Hat OpenShift を実行すると、仮想化アプリケーションとコンテナ化アプリケーションの両方を、サポートされた同じ統合基盤上で並行して実行する柔軟性が得られます。そのため、アプリケーションやワークロードを仮想マシンからコンテナへ、時間をかけて段階的に移行することができます。例えば、通信サービスプロバイダーは、4G 仮想ネットワーク機能 (VNF) と 5G クラウドネイティブ・ネットワーク機能 (CNF) の両方を同じ基盤上で実行することで、信頼性や柔軟性を損なうことなくリソースとコストを最適化できます。

2 クラウドネイティブのスキルを自然に身につける

クラウドへの移行が標準的な IT 運用に変化を必要としたのと同様に、コンテナやクラウドネイティブ運用への移行もアプリケーション開発、デプロイメント、管理に対する新しいスキルとアプローチを必要とします。75% の組織が、コンテナ関連の最大の課題として、専門知識を持つ社内スタッフの不足を挙げています。³ コンテナやクラウドネイティブ・テクノロジーを効果的に、かつセキュリティに重点を置いて使用する方法を学ぶには時間と労力がかかります。

Red Hat OpenShift と Red Hat OpenStack Platform を併用することで、クラウドネイティブのスキルを長期にわたって習得するための基盤が得られます。IT 運用スタッフは Red Hat OpenStack Platform 上で仮想マシンを実行し、実績のある既存のプロセスを使用して管理できます。また、開発者は Red Hat OpenShift 上でコンテナ化されたワークロードを作成し、クラウドネイティブ運用を用いてデプロイできます。これにより、チームはクラウドネイティブ運用を開始し、リスクの少ない環境でスキルを向上させることができます。

1 Red Hat, 「レガシー・アプリケーションのモダナイズーションへの取り組み方」、2023 年 1 月。

2 2023 年版世界のテクノロジー展望: Red Hat レポート 2022 年 5 月 - 6 月、Qualtrics を通じて Red Hat が実施。n = 199

3 Flexera, 「Flexera 2023 State of the Cloud Report」、2023 年 3 月。

3 DevOps を加速する

多くの組織が、アプリケーションの開発と提供をスピードアップするために DevOps アプローチを採用しています。コンテナおよびコンテナベースのアプリケーション・プラットフォームは、DevOps を成功させるために必要な標準化された環境、自動化機能、インフラストラクチャ全体での一貫性を提供します。

Red Hat OpenStack Platform と Red Hat OpenShift を組み合わせることで、DevOps の実践を構築する機能が得られます。Red Hat OpenShift には、DevOps プロセスをサポートするための、多くの開発者および運用向け組み込みツール、パイプライン、自動化が含まれています。自社環境の特定分野における小規模なプロジェクトから始め、自信がついてきたら、より広範な業務やアプリケーションに学習を適用することができます。

4 価値と進歩に焦点を当てる

新技術の導入は複雑なプロセスになり得ます。実際、61% の組織がコンテナ・プラットフォームに関する決定を課題として挙げています。³ テクノロジーの採用イニシアチブにおいて重要なのは人材であり、影響を受けるスタッフ全員が早い段階から関わる必要があります。

Red Hat OpenStack Platform 上で Red Hat OpenShift を実行することで、コンテナやクラウドネイティブ運用を低リスクな環境で試すことができます。現在のプラットフォームとプロセスを使って重要なアプリケーションをサポートしながら、新しいアプローチを試し、コンテナに慣れ親しみつつクラウドネイティブのスキルを身につけることができます。小さなプロジェクトから始めてコンテナ・テクノロジーの価値を体験し、周りにも示した上で、それに応じて取り組みを拡大することで、組織全体への段階的かつ有機的な導入を支援することができます。

Red Hat OpenShift Platform Plus を無料で試す

対象となる Red Hat OpenStack Platform のお客様は、OpenShift Platform Plus を 1 年間無料でお試しいただけます。今すぐ登録ください。



Red Hat について

Red Hat は、[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティングサービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

アジア太平洋
+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア
1 800 733 428

インド
+91 22 3987 8888

インドネシア
001 803 440 224

日本
03 4590 7472

韓国
080 708 0880

マレーシア
1 800 812 678

ニュージーランド
0800 450 503

シンガポール
800 448 1430

中国
800 810 2100

香港
800 901 222

台湾
0800 666 052

f fb.com/RedHatJapan
t twitter.com/RedHatJapan
in linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com
410529_0723_KVM

Copyright © 2023 Red Hat, Inc. Red Hat, Red Hat ロゴ、および OpenShift は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. またはその子会社の商標または登録商標です。OpenStack® フォードマークと Square O Design は個別に、または一体として米国とその他の国における OpenStack Foundation の商標または登録商標であり、OpenStack Foundation の許諾の下に使用されています。

「当社が変革を進める中で、Red Hat OpenStack Platform と Red Hat OpenShift は引き続き重要な役割を果たしてくれるでしょう。」

Jan van Hoorick 氏

Proximus Group、ネットワーク & サービスプラットフォームアーキテクト

[お客様導入事例を読む](#)

5 実績のある専門知識を利用する

企業はコンテナへの移行に際して、セキュリティとコンプライアンスの確保、アプリケーションの移行、環境の管理を最重要課題として挙げています。³ そのため、企業は、アプリケーションの 69% のモダナイズに外部パートナーの関与を想定しています。¹

Red Hat は、組織が既存のアプリケーションをより効率的にモダナイズし、新しいクラウドネイティブ・アプリケーションをビルドするために必要なプラクティス、ツール、文化を生み出すお手伝いをします。Red Hat のメンターベースのアプローチにより、チームはソースから直接情報を得ることができ、クラウドネイティブ運用を導入するために必要なスキルを学ぶことができます。多様な技術的経験を持つ Red Hat のエキスパートが、お客様のスタッフと協力的かつ実践的な方法で作業を行い、確実に成功に導きます。

Red Hat が提供するトレーニングは、コンサルティング業務との相性も抜群です。Red Hat トレーニングは、変化し続ける IT ニーズに合わせて進化するためのスキル構築を支援します。Red Hat の柔軟なカリキュラムでは、コンテナの管理やデプロイから、マイクロサービスや DevOps プロセスの実装まで、あらゆることを学べるコースから選択できます。

エキスパートのサポートを受ける

クラウドネイティブ運用を導入するために必要なスキルを学びましょう。まずは[無料のディスカバリーセッション](#)、または[無料のスキルチェック](#)をお試しください。